

実習科目	単位	時間数	対象学年	単位認定者
小児看護学実習	2単位	90時間	3年次	高木佳寿美
実習概要 小児とその家族の理解と、成長発達や健康障害に応じた適切な看護が実践できる基礎的な能力を養う。				
科目目標 1. 小児の各発達段階にある対象の、身体的・精神的・社会的特徴を理解できる。 2. 小児とその家族の抱える健康問題を捉え、小児の健康障害と発達段階に応じた看護の実践ができる。 3. 小児を取り巻く環境や多職種連携・協働の実際を知り、継続看護のあり方と看護師の役割について理解できる。 4. 小児とその家族の関わりを通して尊重する態度を養い、専門職業人としての態度を身につけることができる。				

実習計画

実習場所・時間	内容および方法
幼稚園 15時間	【健康な小児の理解】 各発達段階の健康な小児の成長・発達と基本的な生活習慣獲得のための生活援助、社会性を育むための支援を学ぶ。
NHO 熊本医療センター 6病棟・小児外来 45時間 NHO 熊本再春医療センター つくし1病棟 30時間	【健康障害をもつ小児の看護】 1. 小児の特徴をふまえて病態や治療方針を理解し、症状緩和の援助や治療、処置が円滑かつ安全に実施できるための援助について学ぶ。 2. 健康障害による入院や治療の経験が、小児の成長・発達におよぼす影響について学ぶ。 3. 入院により家族との生活が分離された時の影響や、治療・処置時の家族の存在の意味について学ぶ。 4. 健康障害を抱え家族と離れて長期に療養生活を送る小児とその家族の支援について学ぶ。 5. 入院生活の中で成長・発達を促進するための援助や、基本的な生活習慣の獲得を目指した日常生活の援助について学ぶ。 6. 言語での表現の未熟さや意思表示が困難な小児の意思を理解するための、観察技術やアセスメント、コミュニケーション技術について学ぶ。 7. 健康障害と発達段階に応じた遊びの援助を実施し、遊びをとおして小児を理解することを学ぶ。 8. 小児の権利擁護や小児と家族の尊厳を守るための援助について学ぶ。
備考	○実習要項参照